

令和3年度



東明小だより

第1号

令和3年4月7日(水)

笑顔いっぱいの学校に

～ご入学・ご進級おめでとうございます～

校長 奥村 哲也

木々の若葉が輝いて、新年度の始まりを祝っているかのようです。

ご入学、ご進級、誠におめでとうございます。

31人の新1年生を迎え、全校228人の児童で令和3年度の東明小学校の歩みが始まりました。職員一同、「笑顔いっぱい」の学校めざして精一杯務めて参ります。どうぞよろしくお願ひします。



さて、私、この度の異動で本校に赴任して参りました。4月初日、校長室に入って最初に目にしたのは「久々利小学校」「平牧小学校」と彫られた2枚のプレートでした。本校は、昭和42年に久々利小学校と平牧小学校を前身としてできた「東小」が、昭和44年に「東明小学校」と校名を改め今日に至っていることを知りました。久々利小学校と平牧小学校の校門にあったプレートが記念に残されているとのことでした。さらにさかのぼると久々利小学校の前身は「明新義校」、平牧小学校の前身は「新教義校」であり、ともに明治6年(1873年)の開校だということも知りました。150年近い学びの歴史が脈々と続いていることに、東明小学校の伝統を感じました。

ところで、新型コロナウイルスの影響で、今なお、学校教育活動の一部が制限されたり以前と同じように行えなかったりする状況にあります。この先、何が起きるか見通すことや将来の変化を予測することが難しい時代です。こうした時だからこそ、どのような状況にあっても、自ら考え仲間と共にたくましく生き抜く力を身に付ける必要があります。

学校目標を「かしこく 心豊かで たくましい子の育成」としました。問題解決や願ひの実現に向けて主体性を発揮し、仲間と協力して、粘り強く最後まで取り組むことができる子を育てていきたいと思ひます。そのために、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、きめ細やかなサポートをしていきたいと思ひます。

いよいよ東明小学校の今年度のスタートです。保護者の皆様、地域の皆様には、何かとお世話になることと思ひます。温かいご支援、ご協力をよろしくお願ひします。